

●この砲弾を使用できる砲を持つキット

No.17 ドイツ88mm砲 FLAK 36/37

No.56 ドイツタイガーI 重戦車

No.146 ドイツタイガーI 重戦車 後期型

FOR USE WITH:

35017 German 88mm Flak 37/38

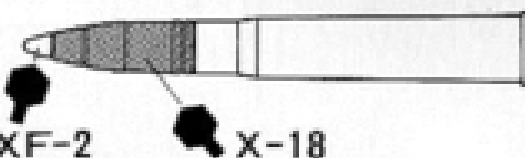
35056 Ger. Tiger I Heavy Tank

35146 Ger. Tiger I Late Version

※ドイツ戦車兵砲弾搭載セット(No.188)のプラスチック製砲弾に換えても使用できます。又、情景アクセサリーとしてもご利用下さい。

※ Use as a diorama accessory. Combine with 35188 Ger. Ammo Loading Crew set, etc.

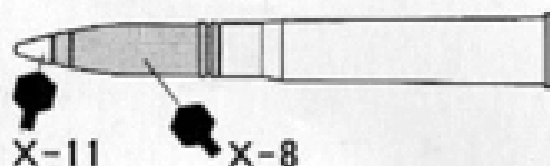
尖頭被帽徹甲弾 PZGR. 39



この砲弾はタイガーI型で使用された尖頭帽の付いた徹甲弾で装甲車輛に使用され、砲弾には炸薬が充填してありました。

Capped armor-piercing shell used on the Tiger I tank, against armored vehicles.

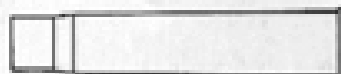
榴弾 SPRGR. L/45



榴弾は弱装甲の目標に対して使用されました。しかし徹甲弾が底をついた時は戦車への使用も許されました。砲弾は曳光弾になっていて炸薬が充填されています。

High-explosive shell used mainly against soft targets. Cartridge had a tracer.

空薬莖 SHELL CASE



この頃の薬莖は真鍮が不足していたため、大戦末期には鉄製も登場し、その表面には腐食を防ぐため透明の特製保護塗料が塗られていました。

Generally the case was made from steel due to a brass shortage.